



ハッピーリリー 岡村通信

Yuriko Okamura

埼玉県マスコット「コバトン」
川口市のマスコット「きゅぽらん」
発行責任者
新所議員会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 39 2021. 7

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

令和3年6月定例会一般質問

6月18日(金)登壇し、一問一答形式で一般質問を行いました。一部抜粋となりますがご報告いたします。

《質問項目》

1 一時保護所の在り方について

- (1)入所期間を短縮させるための取組について
- (2)子どもの権利擁護を

2 離婚前後の支援と養育費確保について

- (1)離婚前の相談体制の強化について
- (2)公正証書作成の支援を
- (3)養育費の継続的な確保策の導入を

3 不妊症に関する性教育を更に行うべき

4 多様性を認め合える学校教育に更に力を入れるべき

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

- (1)団体への支援について
- (2)ターゲット・バードゴルフの周知を

6 様々な理由でマスクができない方がいることへの理解について

- (1)マスクができない方がいるということの周知を
- (2)マスクができないことを他人に理解してもらうための取組を

7 公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

- (1)今後の計画予定について
- (2)地元市との協議と緊密な連携を
- (3)分離設置となることでのメリットについて



1 一時保護所の在り方について

(1) 入所期間を短縮させるための取組について

岡村質問：一時保護所の在り方の入所期間は原則として2ヵ月以内とされている。厚生労働省の資料によると、入所期間の全国平均日数は31日ですが、本県40.3日と平均を超えている現状である。本県の現状をどのように捉え今後どのように改善していくべきか。

知事答弁：個々の児童の状況に対応するため、職員に対して一時保護に関する専門研修を実施し、児童が適切な期間で退所できるように努めている。児童虐待対応の中心となる児童福祉司を令和2年度は52名、令和3年度は43名それぞれ増員した。引き続き児童福祉司について新たな配置基準が適用される来年度に向け増員を図り適切かつ迅速な対応に努める体制を構築する。

2 離婚前後の支援と養育費確保について

平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果によると、離婚の際に養育費の取り決めをしていると回答したのが42.9%、母子世帯において離婚した父親から現在も養育費を受け取っているとの回答は23.4%にとどまっており、離婚後別居している親から養育費の支払いを十分に受けていないことがひとり親世帯の貧困の要因の一つであると言われている。

(2) 公正証書作成の支援を

岡村質問：県として公正証書作成を支援していくべきと考えるがいかがか。

福祉部長答弁：市町村職員への研修を充実させるとともに、今後は住民向けの啓発セミナーなど市町村が行う取組を支援していく。更に、国庫補助事業の活用などにより、市町村において公正証書作成支援の取組が進むよう、県として積極的に働きかけていく。

岡村再質問：財政的な支援はできないか。

福祉部長再答弁：国の補助事業の活用を市町村に周知し、作成支援が進んでいくよう県としても全力で取組んでいく。

(3) 養育費の継続的な確保策の導入を

岡村質問：養育費の滞納があった場合、保証会社がひとり親家庭に立替払いをした上で、未納分を回収する制度となっている民間保証会社を活用し、市町村と連携し養育費確保策を進めていただけないか。

福祉部長答弁：民間保証会社の活用は、ひとり親家庭にとっては養育費が保証される上、離婚した相手と連絡を取る必要もなくなり、精神的な負担も軽減されるという利点がある。今後、その内容を広く県内に周知するとともに、市町村担当向けの勉強会を実施するなど養育費確保支援の促進を図っていく。

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

ターゲット・バードゴルフは、1985年に発表された埼玉県川口市発祥のスポーツで、昨今の健康ブームにおいては、特に高齢者スポーツとして全国的に親しまれている。

(2) ターゲット・バードゴルフの周知を

岡村質問：高齢者が参加しやすいイベント・事業等の好事例集にターゲット・バードゴルフを入れていただきたいがいかがか。

県民生活部長答弁：ターゲット・バードゴルフはこれまで掲載してこなかった。今後は、好事例を取材し、その都度ホームページに掲載するなど、高齢者が参加しやすく生きがいや健康増進に繋がるスポーツ・レクリエーションとして活動を広めていく。

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

埼玉県屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備地選定委員会において、屋内50メートル水泳場は川口市、スポーツ科学拠点施設は上尾市と分離設置の結論が出た。

(1) 今後の計画予定について

岡村質問：屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業費として15,183,000円が計上されているが、今年度はどこまで計画が進むのか。

県民生活部長答弁：今年度は、幅広い事業者の意見を聴取するサウンディング調査を行い、地元市とも調整を図り、施設の規模、配置計画、事業手法なども盛り込んだ基本計画案の策定を行っていく。

(2) 地元市との協議と緊密な連携を

岡村質問：川口市と協議と連携をとりながら計画を策定していくことが周辺住民の理解を得るためにも重要であると考えられるがいかがか。

県民生活部長答弁：様々な課題やご意見、ご要望は理解をしている。基本計画の策定にあたっては、周辺施設との効果的な連携や配置場所の課題について、地元住民の方にもご理解いただけるよう、川口市との綿密に連携を図り協議を進めていく。